

まぎらわしい用語 比較シート

公式シラバス（2026年7月20日現在のスキル）に沿って、試験で取り違えやすい組み合わせだけを集めました。

AZ-900は「説明する・識別する・比較する」で書かれた試験です。**違いが言えれば解けます。**

1. 場所と冗長性

組み合わせ	違い	見分けるキーワード
可用性ゾーン / リージョンペア	同じリージョンの中か、離れたリージョンどうか	「同一リージョン内」→ゾーン / 「地理的に離れた」→ペア
LRS / ZRS	同じデータセンターの中か、同じリージョンの3つ以上のゾーンか	「データセンター障害に耐える」→ZRS
ZRS / GRS	同じリージョン内か、別のリージョンにもか	「リージョン全体の災害」→GRS
可用性セット / 可用性ゾーン	同じデータセンター内の分散か、物理的に離れた場所か	公式は「可用性セットは可用性ゾーンと同じレベルの回復性を提供しません」と明記
Scale Sets / 可用性セット	台数を増やすか、同時に落ちないように分けるか	「需要に応じて自動的に」→Scale Sets

2. 計算とネットワーク

組み合わせ	違い	見分けるキーワード
スケールアップ / スケールアウト	1台を大きく（垂直）か、台数を増やす（水平）か	「CPUとメモリを増やした」→アップ
仮想マシン / App Service	OSも自分で管理か、アプリだけ置くか	「OSを設定したい」→VM
Container Instances / Kubernetes Service	手軽に1つか、大量にまとめて運用か	「オーケストレーション」→AKS
VPN Gateway / ExpressRoute	インターネット経由・暗号化か、インターネットを通らない専用接続か	「専用線」「安定した帯域」→ExpressRoute
サブネット / リソースグループ	ネットワークの区切りか、管理の入れ物か	まったく別の軸。混ぜない
パブリック / プライベートエンドポイント	インターネットから入るか、インターネットを通らずに入るか	名前から意味を逆に取らない

3. ストレージ

組み合わせ	違い	見分けるキーワード
Blob / Azure Files	プログラムから読み書きか、 マウントして使う共有フォルダー か	「ドライブとして開きたい」→Files
クール / アーカイブ	すぐ読めるか、 オフラインで数時間かかる か	最低保存期間：クール30日／コールド90日／アーカイブ180日
AzCopy / Data Box	ネットワーク経由か、 物理的に装置を送る か	「ネットワークでは時間がかかりすぎる」→Data Box
Azure Migrate / Azure File Sync	移行するか、 移したあとも同期し続ける か	—

よく出る引っかけ：冗長性の設定は**ストレージアカウント単位**です。同じアカウントの中で「BlobだけGRS、FilesはLRS」という分け方はできません。違う冗長性が必要ならアカウントを分けます。

4. IDとセキュリティ

組み合わせ	違い	見分けるキーワード
認証 / 認可	あなたは誰か／何を してよいか	権限の話ならRBAC
RBAC / 条件付きアクセス	持っている権限 か、 そのときの状況 か	「社外からのときだけ」→条件付きアクセス
多要素認証 / 強いパスワード	種類の違う要素を2つ以上 か、1つを強くしただけか	「パスワード＋秘密の質問」は多要素 ではない
ゼロトラスト / 多層防御	何を前提にするか／どう重ねる か	「社内だから安全」を否定するのがゼロトラスト
Defender for Cloud / Azure Advisor	セキュリティ特化 か、 コスト等を含む幅広い提案 か	「セキュリティの状態を点数で」→Defender

5. 管理・ガバナンス・監視

組み合わせ	違い	見分けるキーワード
RBAC / Azure Policy / リソースロック	触らせない／作らせない／消させない か	この3語で覚える

Azure Policy / Microsoft Purview	リソースの 構成 か、データの 中身 か	「どんなデータがどこにあるか」 →Purview
料金計算ツール / Cost Management	作る前の見積もり か、 作った後の分析 か	「事前に」 →料金計算ツール
Azure Migrate / Azure Arc	移行するか、 移行せず管理する か	「そのままの場所で」 →Arc
Service Health / Azure Monitor / Advisor	Azure側の問題 / 自分のリソース / 改善の提案	「誰の問題を見るか」 で分ける
Application Insights / Cost Management	アプリの動作 か、 請求の分析 か	Insightsは費用を見ない

断定表現に注意：「常に」「すべて」「必ず」「100%」を含む文は、例外がないか確認してください。例：「すべてのリージョンにリージョンペアがある」→**誤り**（公式は「新しいリージョンの多くはペアではない」と説明）。「SLAは100%の稼働を保証する」→**誤り**（稼働率の目標と、下回ったときの対応を定めた合意）。

出典：Microsoft公式のAZ-900学習ガイド（2026年7月20日現在のスキル）および Microsoft Learn の各サービス公式ドキュメント（2026年8月6日確認）。本資料はエンジニアKが作成した学習用のまとめです。Microsoft Corporationの公式資料ではありません。Microsoft、Azure、Microsoft Entra ID等は同社の商標です。

最新版とくわしい解説：azure-exam-master.com/az-900/confusing-terms/